



四国森林管理局

徳島森林管理署 とくしま通信

治山施設点検を徳島県、三好市と共同実施

日本では毎年約1,700箇所もの山地災害が発生しています。これは険しくて複雑な地形で川幅が狭く急流であることや気候条件が影響しています。徳島県は東西に中央構造線、御荷鉢構造線などが走っており、地質的に脆弱です。このため、徳島県や徳島森林管理署では山地災害が発生した場合、山腹や溪流の荒廃地を治山ダムや土留工などの構造物により安定させ、その後の植栽などで災害に強い森林を維持・造成しています。また、5月30日徳島県、三好市と徳島署合同で、過去に整備した山腹工の施設が機能しているかを確認するため、ドローンを飛行させ点検しました。徳島署では、これからもこのような取組を支援していきます。



施設点検中のドローン



ドローンを見上げる参加者



直前にドローン操作



スクリーンで施設点検を確認



真剣に説明を聞く職員



接合部分を観る



最大スパン 15.1mの大空間



接合金物（日本初）

木造建築物の構造について学びました

5月15日、吉野川市山川町で建設中の「高越小学校・こども園」において、吉野川市教育委員会、構造設計会社、施工会社の方を講師に、木造建築物の構造、柱と梁を組み合わせる接合金物工法、使用されている木材など、様々な分野について学びました。徳島森林管理署では、年間約5千m³の素材（丸太）を生産していますが、今回、実際に生産した素材（丸太）が、消費者の手元に届く時に、どのように加工され使用されているのかについて学びましたが、今後も消費者の目線に立った研修・情報把握に努めていき、それらを今後の業務に活かしていきます。

保護林の再編作業を進めています

徳島森林管理署と四国森林管理局では、保護林の再編作業を進めています。徳島署では、森林生態系や希少な野生生物を将来にわたって保護・管理していく国有林を「保護林」として設定し、その保護に努めており、管内には、現在4箇所（4種類）の保護林があります。現在進めている再編作業は、生物多様性保全に関する科学的知見や保護地域の管理手法の高度化に伴い、生物多様性の保全に配慮した、簡素で効率的な管理体制を再構築しようとするものです。四国森林管理局では、専門家や有識者からなる「保護林管理委員会」を設けて検討を行っています。また、徳島署と四国森林管理局では、5月22～23日に、剣山植物群落保護林で現地調査を行いました。



剣山植物群落保護林



現地を確認しました



シカの食害の問題も



緩急部（右側が保護林）



四国森林管理局 徳島森林管理署
TEL:088-637-1230/FAX:088-666-1818
〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1

